

令和6年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

| 学科 | 教科 | 科目(講座名) | 対象学年 | 単位数 | 教科書 | 使用教材 |
|-----------|-----------|---|--|---|--|---|
| 普通科・福祉教養科 | 理科 | 科学と人間生活 | 全 | 2 | 科学と人間生活 (実教出版) | 科学と人間生活学習ノート(実教出版) |
| 学習の到達目標 | | <ul style="list-style-type: none"> ・自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを見通しをもって行うことなどを通して理解し、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を身に付けている。 ・自然の事物や現象に問題を見出し、実験・観察・調査を行うとともに、事象を実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより、総合的に判断し表現している。 ・自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度が養われている。 ・自然の原理・法則や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて社会が発展するための基盤となる科学に対する興味・関心を高めている。 | | | | |
| 学期 | 月 | 単元 | 学習内容 小項目1節、2節から いずれかを選択 | | 到達度目標(学習のねらい) | |
| 前期 | 4月 | 1章 科学と技術の発展 | 1節 科学と技術の始まり | 1節 科学と技術の始まり 2節 海—特に深海を科学の眼で見よう 3節 土—農業を通して考える | 身近な科学技術の例を取り上げ、その変遷と人間生活の変化との関わりから、科学技術に対する興味・関心がもてる。 | |
| | | 2章 物質の科学 | 1節 材料とその再利用 | | | |
| | 5月 | | 2節 食品と衣料 | | 1節 プラスチックと金属について、代表的な物質の性質や用途及び資源の有限性や有効利用・資源の再利用について理解する。 | |
| | | | | 2節 衣料と食品を扱い、衣料材料として用いられる代表的な物質の性質や用途及び食品中の主な成分の性質について理解する。 | | |
| | 6月 | 3章 生命の科学 | 1節 ヒトの生命現象 | 1節 ヒトの視覚と光とのかかわり、DNAの構造、DNAの塩基配列がヒトの生命現象を支えていることを理解する。 | | |
| | | | 2節 微生物とその利用 | | | 2節 様々な微生物の存在、生態系における微生物の役割、微生物と人間生活とのかかわりなどについて理解する。 |
| 7月 | | | | | | |
| 9月 | 4章 光や熱の科学 | 1節 熱の性質とその利用 | 1節 日常生活における熱の性質と利用について考え、熱の性質、エネルギーの変換と保存及び有効利用について理解する。 | | | |
| 後期 | 10月 | | 2節 光の性質とその利用 | 2節 光を中心とした電磁波について考え、波長による分類、波としての性質、日常生活における電磁波の利用について理解する。 | | |
| | | 11月 | 5章 宇宙や地球の科学 | 1節 太陽と地球 | 1節 太陽や月の運行の周期性、太陽が地球に及ぼす影響、太陽系の広がりや構造について理解し、身近な天体と人間生活とのかかわりについて関心がもてる。 | |
| | 12月 | | | 2節 身近な自然景観と自然災害 | 2節 自然景観の成り立ちとその変化、自然災害について理解し、常に変化し続けている自然景観とそれを引き起こす作用について関心がもてる。 | |
| | | 1月 | 6章 これからの科学と人間生活 | これからの科学・技術と人間 | | 自然や科学技術に関連した事例から、これからの科学と人間生活とのかかわり方について理解を深め興味・関心を高めることができる。 |
| | 2月 | | | | | |